能美防災は、街を、人を、かけがえのないものを、 火災から守り続けています。



2020年度 決算説明会

(2021年3月期)



I.2021年3月期連結決算概要



決算のポイント

受注高は過去最高を更新

事業活動が一部制限を受ける状況下で、受注高は過去最高を更新 コロナ禍にかかわらず、消火設備セグメントが好調

売上・利益とも期初予想を達成

感染防止に努めながら事業活動を展開 売上高・利益ともに期初予想を達成

緊急事態宣言下でも社会の安全確保を重視し活動

社会の安全に向け、事業活動を通じ防災設備の機能確保に注力 国や自治体の方針に基づき感染拡大防止を推進

2021年3月期 連結業績

(百万円)

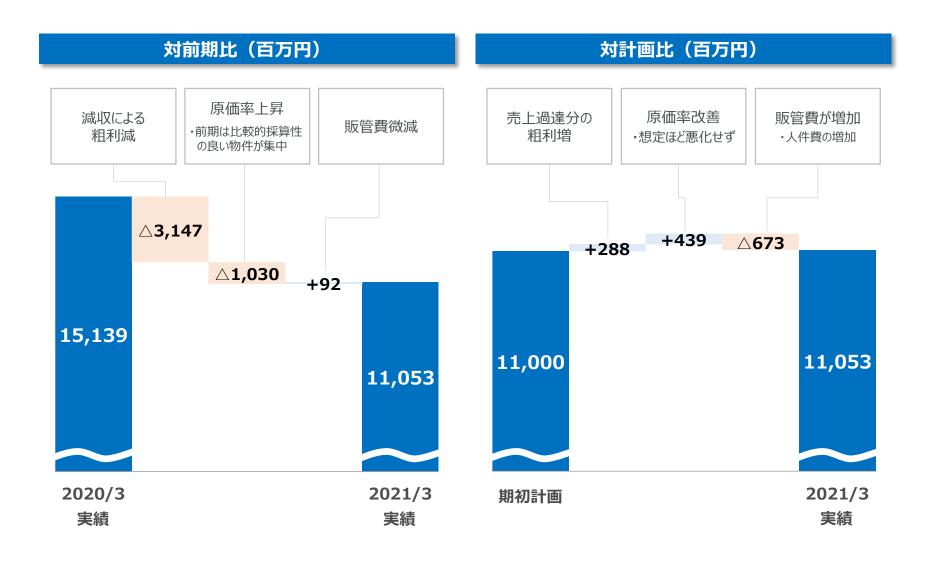
						(
	2020/3	20	021/3	前期比		計画比	
	実績	計画	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	111,872	105,000	113,308	+1,436	+1.3%	+8,308	+7.9%
売上高	117,294	107,000	107,897	△9,396	△8.0%	+897	+0.8%
売上原価率	66.5%	67.9%	67. 4%	+0.9Pt		△0.5pt	
売上総利益	39,305	34,400	35,127	△4,178	△10.6%	+727	+2.1%
販管費	24,165	23,400	24,073	△92	△0.4%	+673	+2.9%
営業利益	15,139	11,000	11,053	△4,085	△27.0%	+53	+0.5%
売上高営業利益率	12.9%	10.3%	10.2%	△2.7pt		△0.1pt	
経常利益	15,448	11,200	11,494	△3,953	△25.6%	+294	+2.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,516	7,450	7,620	△2,895	△27.5%	+170	+2.3%
EPS (円)	174.41	123.55	126.38				
ROE	11.4%	7.7%	7.7%				

セグメント別売上高・利益

(百万円)

		2020/3	20)21/3	前期比	計画比
		実績	計画	実績	増減額	増減額
	売上高	41,108	37,652	38,039	△3,068	+387
火災報知設備	セグメント利益	7,672	6,469	5,979	△1,693	△490
	(利益率)	(18.7%)	(17.2%)	(15.7%)	(△3.0pt)	(△1.5pt)
	売上高	42,805	39,059	38,481	△4,323	△577
消火設備	セグメント利益	7,984	6,313	6,568	△1,415	+254
	(利益率)	(18.7%)	(16.2%)	(17.1%)	(△1.6pt)	(+0.9pt)
	売上高	27,482	25,320	26,688	△794	+1,367
保守点検等	セグメント利益	6,162	4,957	5,392	△769	+435
	(利益率)	(22.4%)	(19.6%)	(20.2%)	(△2.2pt)	(+0.6pt)
	売上高	6,272	5,341	5,038	△1,233	△302
その他	セグメント利益	490	297	253	△236	△43
	(利益率)	(7.8%)	(5.6%)	(5.0%)	(△2.8pt)	(△0.6pt)
ツナ キ たけ 今 サ	売上高	△373	△373	△349	+23	+23
消去または全社	セグメント利益	△7,168	△7,039	△7,140	+28	△101
2亩 &土	売上高	117,294	107,000	107,897	△9,396	+897
連結	営業利益	15,139	11,000	11,053	△4,085	+53

営業利益増減分析



セグメント利益



0						
2017/3 2018/3 2019/3 2020/3 2021/3						
		2020/3	202	1/3	前期比	計画比
		実績	計画	実績	(%)	(%)
受注高		38,441	38,500	37,466	△2.5	△2.7
受注残高		11,728	_	11,243	△4.1	_
売上高		41,108	37,652	38,039	△7.5	+1.0
工事付		24,819	21,732	22,198	△10.6	+2.1
商品販売		16,288	15,920	15,841	△2.7	△0.5

6,469

7,672

5,979 △**22.1**



> コロナ禍で市場環境の不透明感が継続、 受注高は計画にやや未達、前期比でも減少

2019/3

2020/3

2021/3

2017/3

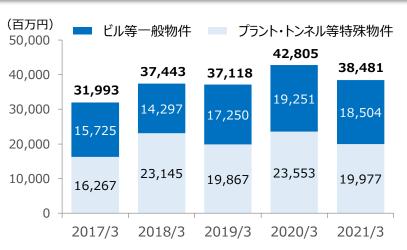
2018/3

- 売上高は、工事付を中心に前期比減少も 計画は超過
- 比較的採算性の良い物件が集中した前期の 反動もあり、利益率は低下

能美防災株式会社 7

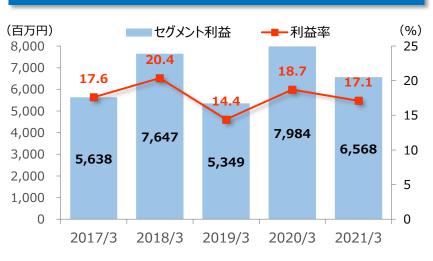
△7.6

売上高(消去前) ビル等一般物件 42,805 37,443 37,118 31,993 19,251 14,297



	2020/3	2021/3		前期比	計画比	
	実績	計画	実績	(%)	(%)	
受注高	40,419	36,700	44,469	+10.0	+21.2	
受注残高	34,133	_	40,187	+17.7	_	
売上高	42,805	39,059	38,481	△10.1	△1.5	
一般物件	19,251	17,479	18,504	△3.9	+5.9	
特殊物件	23,553	21,580	19,977	△15.2	△7.4	
セグメント利益	7,984	6,313	6,568	△17.7	+4.0	





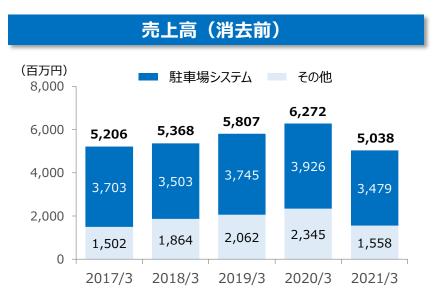
- 受注高は、大型物件がけん引し、 前期比で10%増加、文化財物件も寄与
- 売上高は、大型の特殊物件の計上が 重なっていた前期に比べて10%の減少
- 個別物件の動向により利益率は低下



	2020/3	202	1/3	前期比	計画比
	実績	計画	実績	(%)	(%)
受注高	26,935	24,200	26,436	△1.9	+9.2
受注残高	4,024	_	3,773	△6.2	_
売上高	27,482	25,320	26,688	△2.9	+5.4
保守点検	14,619	13,320	15,031	+2.8	+12.8
補修工事	12,863	12,000	11,656	△9.4	△2.9
セグメント利益	6,162	4,957	5,392	△12.5	+8.8



- 受注高は、コロナ禍の中で前期比減少も 想定ほど悪化せず、期初予想は超過
- 売上高はセグメント全体では減収も、 着実な営業活動により保守点検は堅調
- リニューアル物件が集中した前期に比べ 利益率は低下



セグメント利益/利益率						
(百万円) 2,500		セグメン	小利益	━━利益率	<u>«</u>	(%) - 25
2,000 -						- 20
1,500 -						- 15
1,000 -	6.8		5.5	7.8	5.0	- 10
500 -		3.5		490		- 5
0	353	185	319	490	253	- 0
	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	

	2020/3 2021/3		1/3	前期比	計画比
	実績	計画	実績	(%)	(%)
受注高	6,075	5,600	4,936	△18.8	△11.9
受注残高	747	_	840	+12.5	_
売上高	6,272	5,341	5,038	△19.7	△5.7
駐車場システム	3,926	3,570	3,479	△11.4	△2.5
その他	2,345	1,771	1,558	△33.5	△12.0
セグメント利益	490	297	253	△48.2	△14.6

- > 受注高、売上高、利益はいずれも前期比で 減少、期初予想に対しても未達
- シ駐車場システムは、外出自粛の影響を受け、 駐車場の利用率が低下したこと等から減収

Ⅱ.2022年3月期連結業績予想



2022年3月期 連結業績予想

(百万円)

	2021/3	2022/3	前期	比
,	実績	予想	増減額	増減率
受注高	113,308	122,000	+8,691	+7.7%
売上高	107,897	120,800	+12,902	+12.0%
売上総利益 (利益率)	35,127 (32.6%)	39,950 (33.1%)	+4,822 (+0.5pt)	+13.7% —
販管費	24,073	26,450	+2,376	+9.9%
営業利益 (利益率)	11,053 (10.2%)	13,500 (11.2%)	+2,446 (+1.0pt)	+22.1% —
経常利益	11,494	13,800	+2,305	+20.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,620	9,300	+1,679	+22.0%
EPS (円)	126.38	154.23		
ROE	7.7%	9.1%		

新型コロナウイルスの影響による不透明感は継続

年度を通して工事の進捗遅延や民間設備投資の減少を懸念・注視 すべき状況が続くと想定

高水準の受注残高を背景に2ケタの増収・増益を予想

期初の受注残高は前期比10%増加、これを背景に増収・増益を予想不透明な市場環境ながら、受注高・売上高は過去最高を目指す

営業利益率は定量目標である10%以上を維持

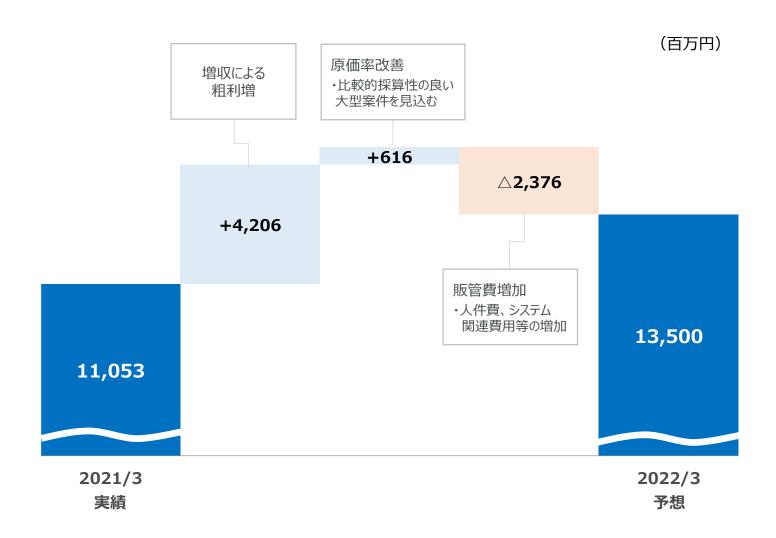
中期経営計画の最終年度である2022年3月期は、売上高は定量 目標に未達となる見込みも、営業利益率は目標達成を予想

セグメント別売上高・利益予想

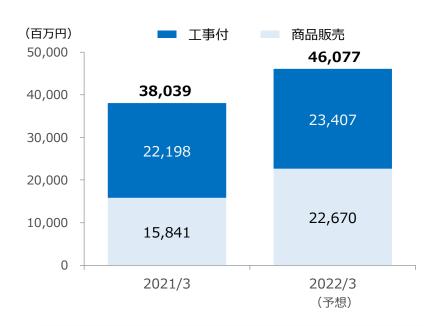
(百万円)

		2021/3	2022/3	前期比	
		実績	予想	増減額	増減率
	売上高	38,039	46,077	+8,037	+21.1%
火災報知設備	セグメント利益	5,979	9,114	+3,135	+52.4%
	(利益率)	(15.7%)	(19.8%)	(+4.1pt)	
	売上高	38,481	42,205	+3,724	+9.7%
消火設備	セグメント利益	6,568	6,710	+142	+2.2%
	(利益率)	(17.1%)	(15.9%)	(△1.2pt)	
	売上高	26,688	27,270	+582	+2.2%
保守点検等	セグメント利益	5,392	5,161	△231	△4.3%
	(利益率)	(20.2%)	(18.9%)	(△1.3pt)	—
	売上高	5,038	5,595	+557	+11.1%
その他	セグメント利益	253	200	△53	△21.1%
	(利益率)	(5.0%)	(3.6%)	(△1.4pt)	
消去または全社	売上高	△349	△349		
消女まだは土社	セグメント利益	△7,140	△ 7,6 87	△546	
連結	売上高	107,897	120,800	+12,902	+12.0%
洋 石	営業利益	11,053	13,500	+2,446	+22.1%

営業利益予想増減分析

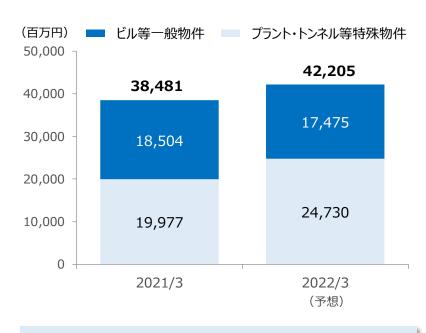


火災報知設備



大型案件を見込んでいること等から、 大幅な増収を目指す

消火設備



前期の受注が順調であったことを背景に、 特殊物件の大幅増収を見込む

保守点検等 (百万円) 保守点検 補修工事 30,000 27,270 26,688 25,000 20,000 15,000 15,031 15,000 10,000 12,270 11,656 5,000 0 2021/3 2022/3

(予想)

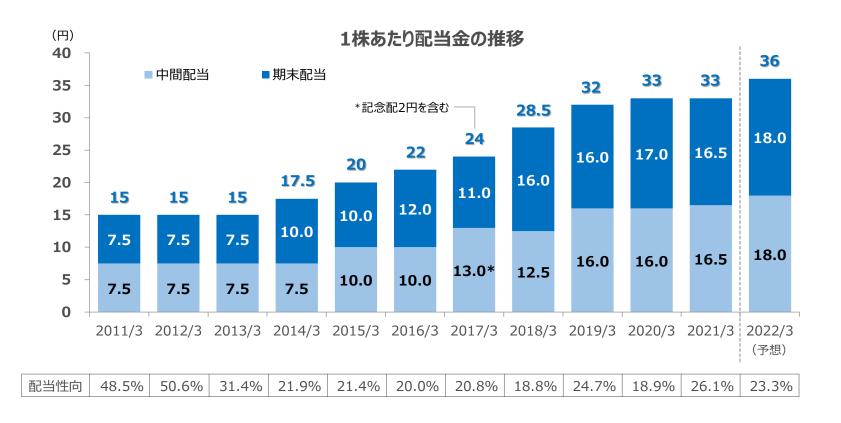
 先行き不透明な状況においても、 着実な売上計上を見込む



新型コロナウイルスによる不透明感は 残るものの、駐車場システムの底打ちを 見込む

株主還元については、配当額の安定的な推移を重視

1978年以来、特別配当を除き減配をしていない



皿. 中期経営計画『project2021』

(2019年度~2021年度)



当社の存在意義

防災事業のパイオニアとして、世の中の変化を先取りし、 社会の安全に貢献する価値を提供し続ける

外部環境に対応し、より高いステージへ進むためには

『現場力』の強靭化が必要不可欠



「現場力」…現場で発生する課題・問題を全員が当事者意識を持って自律的に発見し、組織力を発揮して解決にあたる力

ビジョン

強靭な「現場力」を礎に飛躍的成長へ

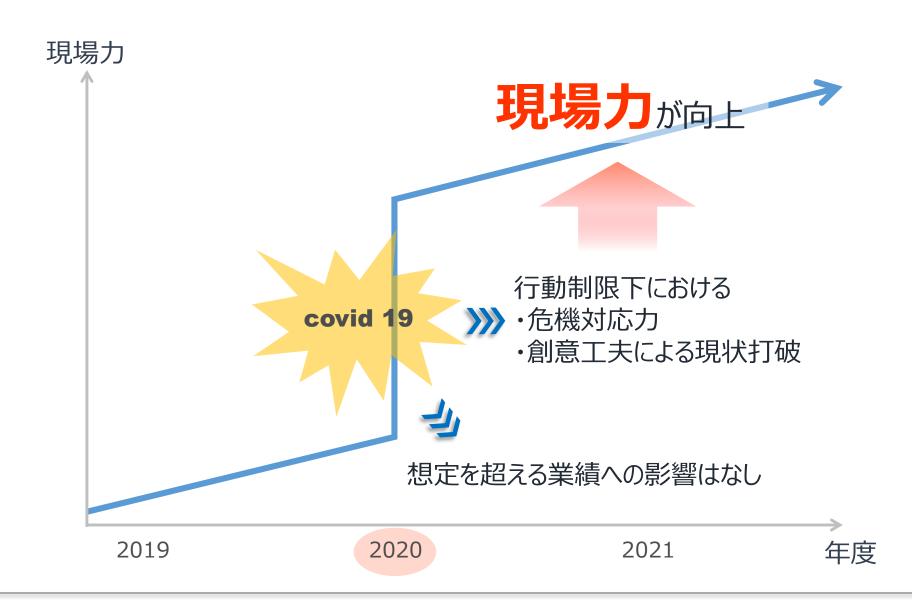
総合防災企業として防災分野のパイオニアであり続ける

【中期経営計画の重点方針】

- ①人財力の向上
- ②事業構想力・遂行力 / オペレーションの精度とスピードの向上
- ③グループ経営の強化

より高いステージに向けた基盤づくり(投資、新たな取り組み)

現場力の強靭化~外部環境に対応し、より高いステージへ~



中期経営計画 最終年度(2021年度)の取り組み

1 人財力の向上

2 基幹事業の礎の強化

文化財防災事業の事例

- 3 事業構想力・遂行力/オペレーションの精度とスピードの向上
- 4 ガバナンス体制の強化継続

人財力の向上(1)

防災業界におけるDXの波

現場のワーカー不足

機械化・ロボット化

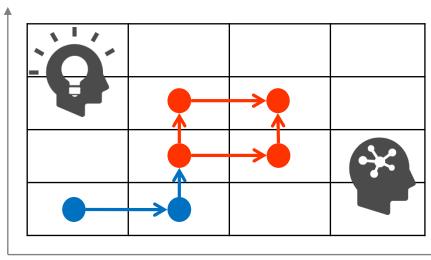
手にする物はドライバーからパソコンへ

デジタルスキルと業務変革スキルの底上げが必須

目指す人財育成のイメージ

- お客様の本質的なニーズに基づくアイデア を創出し、デジタル技術を駆使した改善 提案や、サービスデザインができる
- 自部所の業務から課題を抽出し、 デジタル技術を用いた改善ができる

業務変革スキル



デジタルスキル

人財力の向上(2)

デジタルスキルの向上

オンライン業務への対応ツールを早期に整備、最大限に活用

- デジタルツールの整備

 ⇒ ネットワーク回線の増強や、使用方法・運用方法のオンラインレクチャーを実施・準備中
- スキルアップ研修のコンテンツ提供
- ペーパーレス推進

人財適正配置への対応

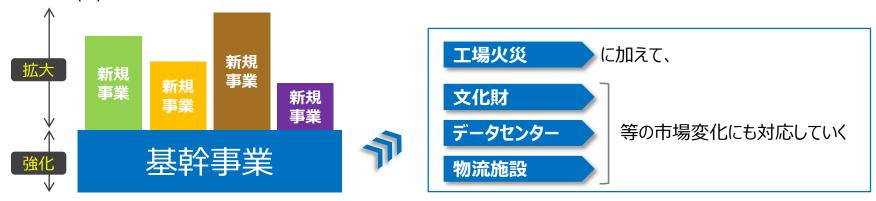
- 社員の経歴・保有資格・キャリアプラン・評価結果・研修受講履歴などの見える化と共有化を検討中

人財不足への対応 【シニア人財力のさらなる活用】

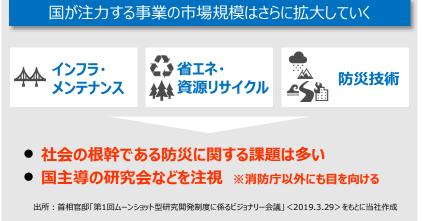
- シニア社員の賃金制度を改訂

基幹事業の礎を強化し、新規事業へチャレンジ

(※) 新規事業の対象は、既存事業に取り組む中で、お客様ニーズが派生する可能性があると考える周辺領域







基幹事業の礎の強化 文化財防災事業

文化財防災事業のこれから

防火対策5か年計画から想定されるニーズの増加

(2020年度~2024年度)

文化財の防火対策に関する国の動き (ノートルダム大聖堂、首里城跡での大規模火災を受けて)

【文化庁】 国宝・重要文化財(建造物)の防火対策ガイドラインを公表、改訂

【文部科学大臣】 世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画を決定

重点整備 対象

- ・世界遺産および国宝(建造物)
- ・国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館等(老朽化・不具合が確認されたもの)

2020年度の状況

大型案件を含め、受注物件は想定以上に増加

今後

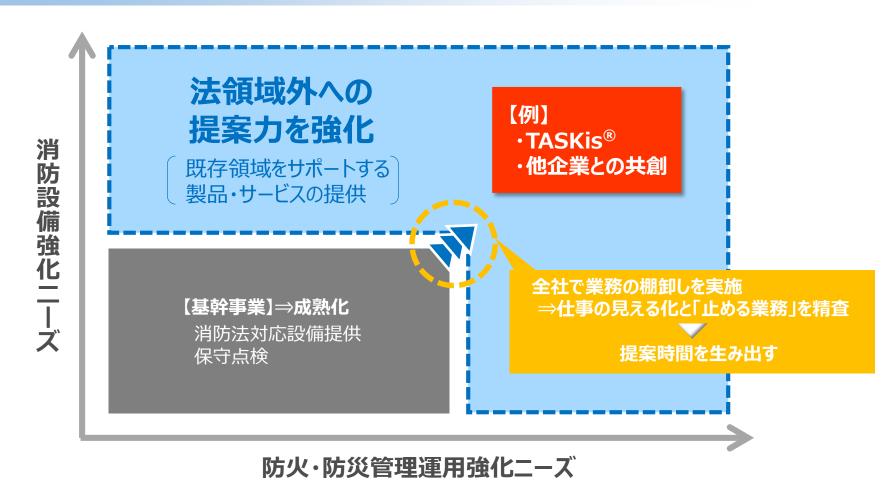
幅広いニーズをとらえ、着実に受注増を目指す

【注力ポイント】

- ①提案内容の拡充
- ②受注(施工)物件の増加に伴う施工担当者の確保、各要員の育成・増強等

事業構想力・遂行力 / オペレーションの精度とスピードの向上(1) /

事業領域の拡大 ← 業務の棚卸し



事業構想力・遂行力 / オペレーションの精度とスピードの向上(2) /

新たな価値の提供による提案力強化

クラウド型防災支援ソフト 『TASKis[®]』の主な機能

- 火災・地震など、BCPに係る非常時の行動指示情報(タスク)を、関係者のスマートフォンへ通知
- 関係者からのタスク実施報告を、管理者のパソコン画面へリアルタイムに表示



ソフト(体制整備)の面で新たな価値を提供

変化するお客様ニーズ … 「検知・検出」から「予防」へ

事業構想力・遂行力 / オペレーションの精度とスピードの向上(3)

事業領域の拡大への取り組み事例

 \sim TASKis $^{
m ext{ iny R}}\sim$

『TASKis®』による新たな安全・安心ニーズの取り込み

安全·安心/信頼度向上

⇒ 保守点検事業自体の強化

TASKis[®] (新商品・新サービス提供

品質向上

付加価値 向上



日々保守点検契約先でヒヤリハットが起きている

保守点検事業

間口を広げる

営業体制・ 提案体制強化 により、

事業領域の拡大へ

体制強化支援

相談:リスク診断

防火·防災設備強化支援

提供価値 向上

プロジェクト・チームを発足

- ・TASKis による保守点検 等の受注促進
- ・顧客ニーズの開発へのスピーディーな反映 等を推進

⇒ 顧客 (ユーザー) との直接的な接点

受注実績を通じて火災以外の安全・安心ニーズを把握、商品性向上につなげ受注拡大を目指す

事業構想力・遂行力 / オペレーションの精度とスピードの向上(4) /

海外事業の強化

アフターサービスまでを含めた付加価値の高いサービスの提供

中国

販売ターゲット拡大 製造戦略の見直し

インド

事業戦略の再構築



日本

バックオフィス機能強化 製造バックアップ機能強化 グローバル人財の確保 M&A、他社との連携検討

東南アジア・台湾

営業拠点施策 代理店施策 製品ラインナップの見直し

新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあるものの戦略は維持

ガバナンス体制の強化継続

コーポレート・ガバナンスの強化

経営体制の強化を継続

2021年6月 開催予定の 株主総会に 付議

譲渡制限付株式報酬制度の導入

2020年6月 実施 執行役員制度の導入

独立社外取締役の比率を1/3に引き上げ

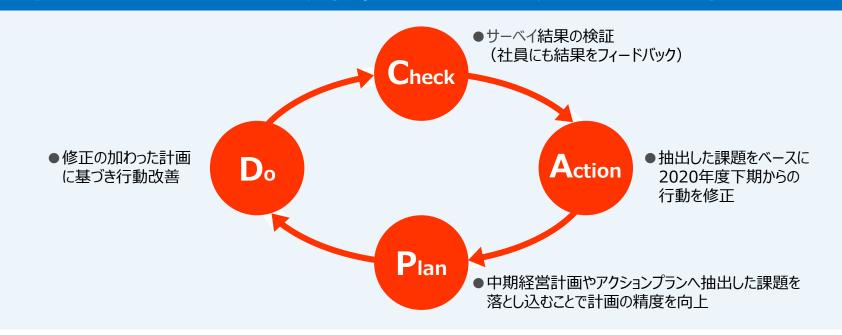
女性取締役の選任

取締役会付議基準の見直し

任意の指名・報酬委員会の設置

中計推進に向け全社員へのエンゲージメントサーベイを実施

社員のモチベーションや組織のパフォーマンス向上施策に反映



- ◆ 中期経営計画を推進するための調査 (エンゲージメントサーベイ)
 - 2020年7月実施(前回は2019年5~6月実施)
 - eNPS (Employee Net Promoter Score) にて分析

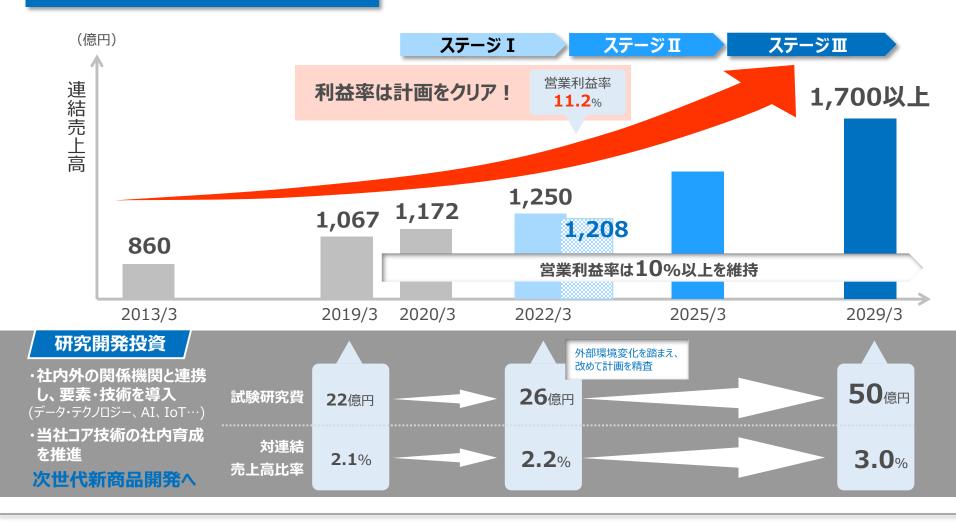
※ eNPSとは…「従業員エンゲージメント」を測定するための指標

NPS(%) = ポジティブ回答者の割合(%)

<ガティブ回答者の割合(%) |

定量目標

連結売上高·営業利益率



IV. ご参考



会社概要

~ 防災システムを一貫体制で提供する総合防災企業 ~

商号

能美防災株式会社

本店所在地

東京都千代田区九段南四丁目7番3号

設

立

1944 [昭和19]年 5月 5日 ※創立は1916年 [大正5年] 12月

代 表 者

代表取締役社長 伊藤 龍典

資 本 金

13,302百万円

従業員数

2,606名 <連結>

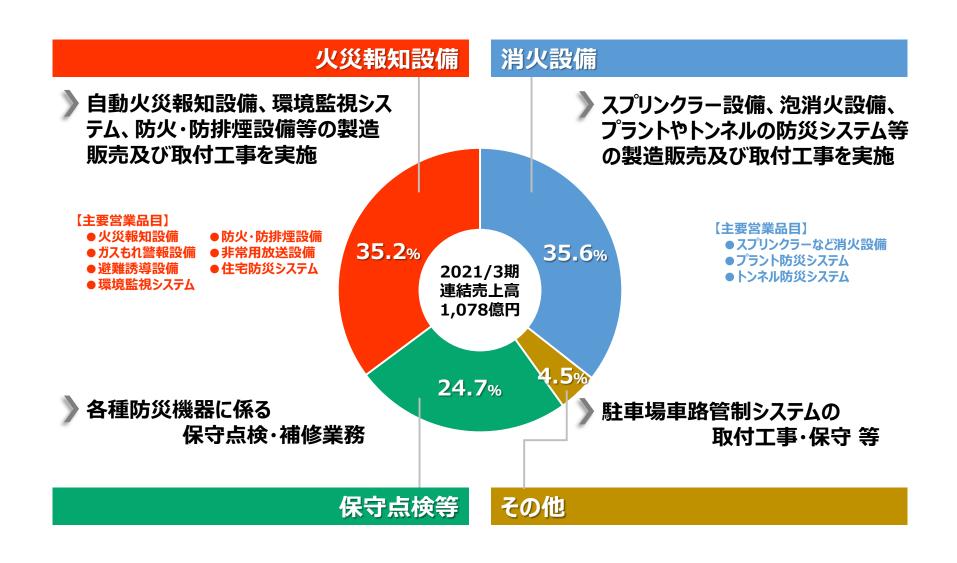
事業内容

※ともに2021年3月末

防災に関する受託実験・企画・提案 各種防災設備、システムの企画、開発、設計、施工、保守 上記機器の設計、製造、販売 駐車場車路管制システムの設計、製造、施工、販売及び保守

沿革

② 2018 ② 2017 創立100周年 ② 2016 ② 2014 ② 2013	クラウド型防災支援ソフト「TASKis」を発売中・大規模建物向け防災システム「R-26C」を販売開始妻沼東事業所に、展示施設「能美テクノリウムメヌマ」を開設、メヌマ工場を拡大消火剤噴霧自動消火システム「SPlasha」を販売開始「リング型表示灯付発信機」がグッドデザイン金賞を受賞画像処理煙検知システムを販売開始	<r-26c></r-26c>	<能美テクノリウムメヌマ>
© 2009 © 2006	三郷市に研究開発センターを開設 火災予兆検知システム「PROTECVIEW」を販売開始 セコム株式会社を引受先とする第三者割当増資を実施 住宅用火災警報器「まもるくん10」を販売開始 自動試験機能付P型自動火災報知システム「進P」を販売開始	< x 对 マ 工 場 >	<研究開発センター(三郷)>
1991 1987 1974	中国に合弁会社「北京能美西科姆消防設備有限公司」を設立東京証券取引所市場第一部に指定替え 青函トンネルに防災設備、瀬戸大橋に消火設備を設置 LNG基地防災システムを開発	火災報知度 Addresse 強く押す	PROTECVIEW>
株式上場 1962	霞が関ビルディングに防災設備を設置 <超高層ビルとして国内初> 名神高速道路の梶原・天王山トンネルに防災設備を設置 <高速道東京証券取引所市場第二部に上場 皇居に火災報知設備を設置 三十三間堂に火災報知設備を設置 <国宝として国内初>	<リング型表示灯付発信機> 直路トンネルとして国内	
I	前年の関東大震災を契機に自動火災報知機による防災事業開始能美輝一、能美商会を創立	74595	<宮中奥御殿(皇居)完工記念>



総合防災力

 研究・開発 ⇒ 製造 ⇒ 営業・設計 ⇒施工 ⇒メンテナンスまで 一貫した責任体制でのサービスを全国に提供可能



幅広い品揃えにより、様々な施設、 防災ニーズに対応が可能



長い社歴の中で強みが磨かれた5つの要素

- ① 総合防災に関する開発、設計、施工等の『技術力』
- ② 豊富な実験により蓄積された火災に関する『ノウハウ』
- ③ 細かな工程管理や対応等、ハイレベルな『施工力』
- ④ 実績とともに築かれた関係各所からの『信頼』
- ⑤ 日本全国に敷かれた充実した『代理店網』



注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、能美防災およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、 この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向 等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があること をご承知おきください。